

令和元年度 10 月入学

帯広畜産大学大学院畜産学研究科

畜産科学専攻（博士前期課程）

学生募集要項

（一般選抜・社会人特別選抜）

APPLICATION FOR ADMISSION TO THE MASTER'S PROGRAM
OF ANIMAL SCIENCE AND AGRICULTURE

GRADUATE SCHOOL
OF ANIMAL AND VETERINARY SCIENCES AND AGRICULTURE
OBIHIRO UNIVERSITY
OF AGRICULTURE AND VETERINARY MEDICINE

Starting in October, 2019

General Admission and Special Selection for Mature Applicants

試 験 日 程

令和元年度 10 月入学一般選抜・社会人特別選抜

出願資格審査申請期限 (該当者のみ)	令和元年7月5日 (金)	
出願期間 (検定料払込期間)	令和元年7月16日 (火) ~令和元年7月22日 (月) (令和元年7月9日 (火) ~令和元年7月22日 (月))	
試験実施日※	小論文 英語	令和元年8月20日 (火)
	面接	令和元年8月21日 (水)
合格発表日	令和元年8月27日 (火)	
入学手続期間	令和元年8月27日 (火) ~令和元年9月13日 (金)	

※ 社会人特別選抜の試験科目は面接のみです。

Entrance Examination Schedule

General Admission and Special Selection for Mature Applicants Starting in October, 2019

Deadline for authorization for qualified applicants (If applicable)	Friday, July 5, 2019	
Application period (Payment period of examination fee)	From Tuesday, July 16, 2019 to Monday, July 22, 2019 (From Tuesday, July 9, 2019 to Monday, July 22, 2019)	
Date of examination*	Short essay and English	Tuesday, August 20, 2019
	Interview	Wednesday, August 21, 2019
Date of notification of admissions	Tuesday, August 27, 2019	
Enrollment period	From Tuesday, August 27, 2019 to Friday, September 13, 2019	

*The examination of the special selection for mature applicants is only by interview.

目 次

1 募 集 人 員	1
2 出願資格・要件	1
3 出願資格の認定（書類審査）	3
4 障がい等のある志願者との事前相談	3
5 出 願 手 続	4
6 入学者選抜方法	6
7 試験期日及び試験場	6
8 合 格 発 表	6
9 入 学 手 続	7
10 個人情報の取扱いについて	7
◎ 帯広畜産大学大学院畜産学研究科畜産科学専攻（博士前期課程）案内	8
◎ 出願書類の提出・問い合わせ先	17

Contents

1	Number of Students to be Admitted	18
2	Application Criteria	18
3	Authorization for Qualified Applicants	20
4	Advance Consultation for Applicants with Physical Disabilities	20
5	Application Procedure	21
6	Method of Selection	23
7	Time, Date and Location of Examination	23
8	Notification of Admission	24
9	Enrollment Procedures	24
10	Privacy Statement	24
	©Description of the Master's Program	25
	©Application and enquiries	36

1 募集人員

専攻・課程	コース名	募集人員	
		一般選抜	社会人特別選抜
畜産科学専攻 博士前期課程	動物医科学コース	若干人	若干人
	家畜生産科学コース		
	環境生態学コース		
	食品科学コース		
	農業経済学コース		
	農業環境工学コース		
	植物生産科学コース		

※ 畜産科学専攻としての募集人員であり、コース毎の定員はありません。

※ コースの概要、担当教員については8ページ以降を参照ください。

2 出願資格・要件

(1) 一般選抜（外国人留学生含む）

次の①～⑪のいずれかに該当する者

- ① 大学を卒業した者又は令和元年9月までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第4項の規定により大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者又は令和元年9月までに授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は令和元年9月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は令和元年9月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者又は令和元年9月までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和元年9月までに授与される見込みの者

【注1】

- ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和元年9月までに修了見込みの者
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- ⑨ 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程若しくは我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者【注2】
- ⑩ 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学の大学院に入学した者であって、本学の大学院において、その教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者【注2】
- ⑪ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者【注2】

【注1】：大学卒業まで16年に満たない国の大学卒業（見込み）者で、出願資格⑥に該当しない場合は、出願資格⑪の個別の入学資格審査が必要となります。

【注2】：出願資格⑨、⑩、⑪により出願する者については、出願資格の認定が必要ですので、3ページの「3 出願資格の認定（書類審査）」を参照してください。

(2) 社会人特別選抜（外国人留学生含む）

次の①及び②に該当する者

- ① 令和元年9月までに、2年以上の社会経験（研究機関、教育機関、行政機関、企業等での勤務及び自営業、主婦等の経験）を有する者
- ② 次のi～ixのいずれかに該当する者
 - i 平成29年9月以前に大学を卒業した者
 - ii 平成29年9月以前に学校教育法第104条第4項の規定により大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者
 - iii 平成29年9月以前に外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
 - iv 平成29年9月以前に外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
 - v 平成29年9月以前に我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
 - vi 平成29年9月以前に外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む）により、学士の学位に相当する学位を授与された者【注1】
 - vii 平成29年9月以前に専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - viii 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
 - ix 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で22歳に達した者【注2】

【注1】：大学卒業まで16年に満たない国の大学卒業で、出願資格②viに該当しない場合は、出願資格②ixの個別の入学資格審査が必要となります。

【注2】：出願資格②ixにより出願する者については、出願資格の認定が必要ですので、3ページの「3 出願資格の認定（書類審査）」を参照してください。

3 出願資格の認定（書類審査）（該当者のみ）

一般選抜の出願資格⑨、⑩、⑪及び社会人特別選抜の出願資格②ix で出願しようとする者は、出願に先立って出願資格審査を行いますので、出願資格の区分に応じて提出書類を提出期限までに提出してください。なお、郵送の場合は必ず書留速達としてください。

提出書類	一般選抜 出願資格⑨	(1) 出願資格認定申請書 ※ (2) 在学証明書又は卒業証明書 (3) 成績証明書（履修状況を証明する書類）
	一般選抜 出願資格⑩	(1) 出願資格認定申請書 ※ (2) 学部の成績証明書（履修状況を証明する書類） (3) 大学院の在学証明書
	一般選抜 出願資格⑪	(1) 出願資格認定申請書 ※ (2) 最終学歴の卒業（修了）証明書 (3) 成績証明書（履修状況を証明する書類）
	社会人特別選抜 出願資格②ix	(4) 研究歴証明書（研究期間、研究内容は必ず記載） (5) 研究成果資料
提出期限		令和元年7月5日（金）
提出・問合せ先		〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地 帯広畜産大学 入試・教務課入学試験係

※ 出願資格認定申請書の様式は、本学ホームページに掲載しています。
帯広畜産大学 入試情報 <https://www.obihiro.ac.jp/grad-adm>
上記ウェブサイト内の「大学院入試」をご覧ください。

4 障がい等のある志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障がい等のある者については、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、下記の期限までに事前相談を行ってください（日常生活において、ごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も試験場設定や他の特別な配慮との関係から必ず事前に相談してください）。

提出書類	(1) 事前相談書 ※ (2) 医師の診断書 (3) その他障がいの状況がわかる書類（障害者手帳の写し等）
提出期限	令和元年7月22日（月）
提出・問合せ先	帯広畜産大学 入試・教務課入学試験係 〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地

※ 事前相談書の様式は、本学ホームページに掲載しています。
帯広畜産大学 入試情報 <https://www.obihiro.ac.jp/admissions>
上記ウェブサイト内の「障がいのある志願者との事前相談」をご覧ください。

5 出願手続

(1) 出願書類等（一般選抜・社会人特別選抜）

出願書類等		一般選抜	社会人特別選抜	摘 要
1	入学志願票 受験票 写真票	○	○	*印欄以外の所定の欄はすべて記入してください。 写真（縦4cm横3cm）は、出願前3か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きのもので、裏面に志望コース名・氏名を記入の上、写真票の所定の欄に貼ってください（受験時に眼鏡を使用する者は、必ず眼鏡を着用して撮影したものにしてください）。
2	検定料の「振替払込受付証明書（お客さま用）」（日附印が押印されたもの）	該当者のみ	該当者のみ	検定料（30,000円）を払い込み後、 出願書類の所定の場所に貼って提出 してください。 納入方法は、5ページの(2)を参照してください。 ※国費外国人留学生は、検定料は納付不要ですので、「国費外国人留学生証明書」（在学している大学が発行したもの。写しでも可。）を提出してください。
3	研究計画書	○	○	大学院において行おうとする研究内容を記載してください。作成要領は5ページの(3)を参照してください。
4	卒業証明書又は卒業見込証明書	該当者のみ	該当者のみ	※本学の卒業（見込）者及び国費外国人留学生は提出不要 ※一般選抜の出願資格⑨で出願する者は「在学証明書」
5	成績証明書	該当者のみ	該当者のみ	厳封したものを提出してください。 ※本学の卒業（見込）者及び国費外国人留学生は提出不要
6	あて名票（合格通知書送付用）	○	○	本学所定の用紙に郵便番号・住所・氏名を明記したものを提出してください。
7	受験票送付用封筒	○	○	本学所定の封筒（小）に郵便番号・住所・氏名を明記し362円分の切手を貼ったものを提出してください ※入学試験係に受験票を直接取りに来る場合は氏名のみを記載し、切手を貼る必要はありません。
8	TOEIC 公式認定証、TOEFL 公式スコアレポート、IELTS 成績証明書	該当者のみ	/	以下のうち、いずれか一つの原本を提出してください。 平成29年4月1日以降に受験したものに限り（原本は受験票送付時に返却します。） ・TOEIC L&R 公式認定証（650点以上）（TOEIC-IPも可） ・TOEFL iBT スコアレポート（67点以上） ・IELTS Academic-module の成績証明書（5.5以上） ※英語筆記試験の免除希望者のみ提出
9	住民票の写し又は在留カードの写し	外国人のみ	外国人のみ	住民票の写しの場合、出願締切日から6か月以内に発行されたもので、在留資格、在留期間が記入されているものを提出してください。
10	推薦書	/	○	勤務先所属長の推薦書又は従事していた勤務先所属長の推薦書若しくは自己推薦書を提出してください。
11	業績報告書	/	○	研究論文、技術報告書、特許、実用新案、卒業研究報告書等、本人の業績又は業務内容を示すもの。

注： 出願書類のうち英語以外の外国語で発行された書類については、日本語訳を添付してください。

(2) 検定料の納入方法

本学所定の払込取扱票により、払込期間内に最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行から払い込んでください。

なお、郵便局・ゆうちょ銀行の窓口取扱いは通常平日は 16 時まで、土・日曜日及び祝日は休業ですのでご注意ください。

検定料払込期間

区 分	払 込 期 間
一般選抜・社会人特別選抜（10月入学）	令和元年 7 月 9 日（火）～令和元年 7 月 22 日（月）

注1： 受理した検定料は返還できません。ただし、次の場合に限り、申出により検定料相当額を返還します。

- ア) 出願しなかった場合
- イ) 出願書類が受理されなかった場合
- ウ) 二重に払い込んだ場合

※ 返還に関する問い合わせ先 帯広畜産大学 入試・教務課入学試験係 TEL 0155-49-5321

注2： 検定料が払い込まれていない場合や「振替払込受付証明書」に郵便局・ゆうちょ銀行の日附印が押印されていない場合は出願を受理できません。

(3) 研究計画書の作成要領

大学院で実施する研究について、主指導を希望する教員と必ず連絡を取って相談の上、作成してください。

日本語の場合は 1,000 字以内、英語の場合は A4 版用紙で 1 枚以内とします。

研究計画書には以下の 3 つの内容を明確に記すこと。

1. 研究の背景と目的（詳細に記すこと）
2. 研究の方法概略（技法等の詳細な記述は必要なく、研究全体の流れを簡潔に記すこと）
3. 予想される研究結果（詳細な記述は必要なく、研究目的に沿って簡潔に記すこと）

研究計画書の様式は、本学ホームページに掲載しています。

帯広畜産大学 入試情報 <https://www.obihiro.ac.jp/grad-adm>

上記ウェブサイト内の「大学院入試」のページをご覧ください。

(4) 出願方法及び出願期間

出願書類は、一括して本学所定の封筒（大）若しくは角型 2 号の封筒に入れ、持参又は郵送してください。

- ① 持参の場合
受付時間は、8 時 30 分から 17 時までとします。ただし、土・日曜日及び祝日を除きます。
- ② 郵送の場合
必ず「書留速達」扱いとしてください。出願期間最終日の 17 時必着とします。

なお、出願期限後に到着した出願書類等は受理しないので、郵便事情等を考慮して余裕を持って発送してください。

区 分	出 願 期 間
一般選抜・社会人特別選抜（10月入学）	令和元年 7 月 16 日（火）～令和元年 7 月 22 日（月）

(5) 出願書類等の提出先

帯広畜産大学 入試・教務課入学試験係

〒 080-8555 帯広市稲田町西 2 線 11 番地

なお、出願書類等は、返還することができません。

6 入学者選抜方法

(1) 一般選抜

学力検査、面接（研究計画書及び成績証明書の内容を考慮します）を総合して行います。

科目名	配点	内 容 等
英 語	100 点	共通問題（日本人は英文和訳，外国人は英文要約） ※ ただし，TOEIC L&R（TOEIC-IP を含む）650 点以上，TOEFL iBT 67 点以上，IELTS 5.5 以上のスコア票又は公式認定証（平成 29 年 4 月 1 日以降に受験したものに限り）を提出した者は英語の試験を免除し，得点は本学の定める基準により 80～100 点で換算します。
小論文	200 点	共通問題（資料を提示し，論述を課すもの）及びコース別問題（各コースの基礎知識に関する用語説明を課すもの）をあわせて出題します。
面 接	100 点	コース毎に，複数の面接官による個人面接を実施します。

(2) 社会人特別選抜

面接（推薦書，研究計画書，成績証明書及び業績報告書の内容を考慮します）により行います。

科目名	配点	内 容 等
面 接	100 点	コース毎に，複数の面接官による個人面接を実施します。

7 試験期日及び試験場

(1) 令和元年度 10 月入学

①一般選抜

実 施 期 日	科 目 等	時 間	試 験 場
令和元年 8 月 20 日（火）	小 論 文	10:30～12:00	帯広畜産大学
	英 語	13:00～14:30	
令和元年 8 月 21 日（水）	面 接	9:00～	帯広畜産大学

② 社会人特別選抜

実 施 期 日	科 目 等	時 間	試 験 場
令和元年 8 月 21 日（水）	面 接	9:00～	帯広畜産大学

※ 令和元年 8 月 19 日（月）10 時から試験場案内図を受験者入口（総合研究棟 I 号館入口）に掲示しますが，試験室内に入ることはいけません。

8 合格発表

(1) 発表日時

区 分	発 表 日 時	発 表 場 所
一般選抜・社会人特別選抜 （10 月入学）	令和元年 8 月 27 日（火）10:00	本学総合研究棟 I 号館玄関 及び本学ホームページ https://www.obihiro.ac.jp/

(2) 合格者で本学に在学する者には，受験票と引き換えに合格通知書及び入学手続きに必要な書類を入試・教務課入学試験係で交付します。その他の合格者には郵送します。

(3) 電話等による可否に関する問い合わせには，応じられません。

9 入学手続

(1) 入学手続期間

区 分	手 続 期 間
一般選抜・社会人特別選抜（10月入学）	令和元年8月27日（火）～令和元年9月13日（金）

※最終日17時必着

(2) 入 学 料 282,000 円

(3) その他の経費

学生教育研究災害傷害保険料等（正課・課外活動中における不慮の災害事故による学生の傷害に対する救済措置） 2,470 円

授業料について（参考）

前期分 267,900 円 後期分 267,900 円

※上記の納付金は現行額であり，入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には，改定時から新たな納付金が適用されます。

※納入期限は，前期分が4月末日，後期分については10月末日です。

10 個人情報の取扱いについて

- (1) 本学が保有する個人情報は，「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに，「国立大学法人帯広畜産大学保有個人情報管理規程」に基づき，保護に万全を期しています。
- (2) 出願時にお知らせいただいた氏名，住所等の個人情報については，入学者選抜，合格発表，入学手続，入学者選抜方法等における調査・研究及びこれらに付随する業務を行うために利用します。
- (3) 入学者選抜で得られた試験成績の個人情報は，入学者選抜及び入学者選抜方法等における調査・研究を行うために利用します。
- (4) 上記(2)及び(3)の個人情報のうち，合格者のみ，入学後の教務関係（修学指導等），学生支援関係（奨学金申請・授業料免除申請等）に関する業務及びこれらに付随する業務を行うために利用します。なお，合格者には入学手続時に改めてお知らせします。

帯広畜産大学大学院畜産学研究科畜産科学専攻（博士前期課程）案内

大学のミッションは、知の創造と実践によって実学の学風を発展させ、「食を支え、暮らしを守る」人材の育成を通じて、地域および国際社会へ貢献することです。
このような理念・目標のもとに、教育ポリシー（方針）を以下のように定めています。

1 大学院畜産学研究科畜産科学専攻（博士前期課程）の教育ポリシー（方針）

○アドミッションポリシー（入学者受入方針）

帯広畜産大学大学院畜産学研究科畜産科学専攻（博士前期課程）では、「食の安全確保」をはじめとする農畜産学に関する課題解決能力と幅広い見識を備えた人材を育成するため、以下のような人を学生として求めています。そのために、入学試験では専門と語学に関する筆記試験と研究計画・能力を評価する口述試験を実施します。

1. 国際的な視野を持って行動でき、農畜産学に関する高度専門職業人を目指す人
2. 各コースの特定分野に関する学士課程までの基礎知識と基本的技術を身につけている人
3. 各コースで自ら研究計画を立案できる基礎的知識・技術を身につけている人
4. 獣医・農畜産融合の視点から、食の安全確保・生産性向上・環境保全に関する課題に高い関心を持ち、それらの課題解決に積極的に取り組みたい人

○ディプロマポリシー（学位授与方針）

帯広畜産大学大学院畜産学研究科畜産科学専攻（博士前期課程）では、教育課程で定められた授業科目を履修して所定の修了要件単位を修得し、動物医科学、家畜生産科学、環境生態学、食品科学、農業経済学、農業環境工学、植物生産科学等の農畜産学分野及びその学際分野における最新の知識と技術を駆使し、「食の安全確保」をはじめとする農畜産学に関する問題解決型の高度な研究能力と幅広い見識を備え、以下の能力を身につけた人に学位を授与します。

1. 倫理観：社会通念上や専門家として相応しい倫理観、道徳観を身につけている人
2. 課題設定・解決力：グローバル化を背景とした生命・食料・環境の分野の課題を自ら設定し、それに対する解決能力を身につけている人
3. 表現力・コミュニケーション能力：国際感覚を備えた思考・判断の過程を説明するために必要なプレゼンテーション能力を身につけている人
4. 専門的知識・技術：獣医・農畜産融合の視点から、本専攻に配置された各コースに関する高度専門職業人としての知識と技術を身につけている、または同コースの課題に関する研究者としての基礎的な能力を身につけている人

○カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

帯広畜産大学大学院畜産学研究科畜産科学専攻（博士前期課程）ディプロマポリシーに掲げた知識・技能等を修得させるために、以下の点に配慮して教育を行います。

1. 倫理観の養成：eラーニング等を用いた、倫理観を養成する科目を配置します。
2. 課題設定・解決能力の養成：アクティブラーニングを用いた、論理的思考能力を磨き、食の安全確保・生産性向上・環境保全に関する課題設定・解決能力を養成する科目を配置します。
3. 国際感覚を備えた実践力の養成：グローバル社会で活躍するための英語力を修得するため、英語によるプレゼンテーション能力や論文作成能力を高める科目を配置するとともに、身につけた表現力・コミュニケーション能力を実践するためのインターンシップ、海外演習、研究発表に関する科目を配置します。
4. 豊かな教養と幅広い学術基盤の形成：豊かな教養を身につけるための共通教養科目及び高度な専門性を修得するための専攻コア科目を配置するとともに、専門性の高い知識を分野横断的に修得するために、他コース専門科目を選択科目として配置します。

2 各コースの教育ポリシー（方針）

動物物医科学コース

○養成する人材像

獣医師養成以外の学士課程を卒業した学生を受け入れ、基礎生物学や農畜産学の知識を基に、基礎動物医科学、動物病態学、動物感染症学、病因制御学、さらに動物臨床科学に関する知識を提供し、動物に関する様々な知識を社会に還元できる高度専門職業人を養成する。

○アドミッションポリシー（入学者受入方針）

以下のような人材を求めます。

1. 基礎動物医科学、動物病態学、動物感染症学、病因制御学、動物臨床科学に関する高度な知識及び技術及び研究能力を身につけ、動物医科学的観点から社会への貢献を目指す人
2. 基礎生物学や農畜産学に関する学士課程までの基礎知識と基本的技術を身につけている人
3. 基礎生物学に関する基礎的知識と基本的技術を踏まえて、動物医科学分野で自ら研究計画を立案できる人
4. 基礎生物学や農畜産学の諸問題について、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、その結果を説明できる人

○ディプロマポリシー（学位授与方針）

以下の能力を備えた人に学位を授与します。

1. 倫理観：動物医科学の知識や社会活動に対する深い理解に基づいた倫理観・道徳観を身につけている人
2. 課題設定・解決力：動物医科学分野における課題を自ら設定し、それに対する解決能力を身につけている人
3. 表現力・コミュニケーション能力：他者の思想や意見を尊重した上で、動物医科学分野について、自身の思想や意見を的確に表現し、意見を交わすためのプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身につけている人
4. 専門的知識・技術：基礎生物学や農畜産学の知識を土台に、基礎動物医科学、動物病態学、動物感染症学、病因制御学、さらに動物臨床科学等動物医科学に関する幅広い専門知識とそれを社会において応用、発展させていく能力を身につけている人

○カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

伴侶動物、産業動物、実験動物、野生動物といった様々な動物を対象として、基礎、病態、感染症、病因制御、動物臨床科学等関連の動物医科学に関する幅広い専門分野を学ぶための科目を配置します。

家畜生産科学コース

○養成する人材像

家畜をはじめとする動物の生体機能、育種、繁殖、栄養、管理等に関する広範かつ体系的な知識や技術を身につけ、畜産・生命科学分野の様々な問題に柔軟に対応できる高度専門職業人、または畜産・生命科学分野の課題について研究できる基礎的な能力を身に付けた研究者を養成する。

○アドミッションポリシー（入学者受入方針）

以下のような人材を求めます。

1. 家畜やその生産管理に関する高度な知識と技術、研究能力を身につけ、生命科学や畜産学の観点から社会貢献を目指す人
2. 家畜生産科学に関する学士課程までの基礎知識と基本的技術を身につけている人
3. 家畜やその生産管理に関する高度な知識と技術、研究能力を身につけ、家畜生産科学分野で自ら研究計画を立案できる人
4. 家畜やその生産管理に関する諸問題について、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、その結果を説明できる人

○ディプロマポリシー（学位授与方針）

以下の能力を備えた人に学位を授与します。

1. 倫理観：家畜生産科学の知識や社会活動に対する深い理解に基づいた倫理観・道徳観を身につけている人
2. 課題設定・解決力：畜産や生命科学分野における課題を自ら設定し、それに対する解決能力を身につけている人
3. 表現力・コミュニケーション能力：他者の思想や意見を尊重した上で、家畜生産科学分野について、自身の思想や意見を的確に表現し、意見を交わすためのプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身につけている人
4. 専門的知識・技術：家畜の生理や行動を理解しそれを遺伝的改良や生産性の向上へと繋げる基礎から応用までの体系的な知識と技術を身につけている人

○カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

畜産を従来の生産学的視点だけではなく動物福祉や生態系への配慮等を含めた広い視点で捉え、家畜の生理や行動を理解しそれを遺伝的改良や生産性の向上へと繋げる基礎から応用までの最新の知識と技術を修得する科目を配置します。

環境生態学コース

○養成する人材像

農畜産環境とそれを取り巻く自然環境に関する広範かつ体系的な知識を身につけ環境の保全・管理・利用に関する様々な問題に柔軟に対応できる高度専門職業人、または環境生態学分野の課題について研究できる基礎的な能力を身に付けた研究者を養成する。

○アドミッションポリシー（入学者受入方針）

以下のような人材を求めます。

1. 農畜産環境及び自然環境の保全と管理に関する幅広い知識、技術及び研究能力を身につけ、生態学的及び環境科学的観点から社会への貢献を目指す人
2. 環境生態学に関する学士課程までの基礎知識と基本的技術を身につけている人
3. 農畜産環境及び自然環境の保全と管理の知識、技術及び研究能力を身につけ、環境生態学分野で自ら研究計画を立案できる人
4. 農畜産環境及び自然環境の保全と管理の諸問題について、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、その結果を説明できる人

○ディプロマポリシー（学位授与方針）

以下の能力を備えた人に学位を授与します。

1. 倫理観：環境生態学の知識や社会活動に対する深い理解に基づいた倫理観・道徳観を身につけている人
2. 課題設定・解決力：環境生態学における課題を自ら設定し、それに対する解決能力を身につけている人
3. 表現力・コミュニケーション能力：他者の思想や意見を尊重した上で、環境生態学分野について自身の思想や意見を的確に表現し、意見を交わすためのプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身につけている人
4. 専門的知識・技術：環境を構成する様々な生命体の役割と機能、相互作用、及び生態系の保全・管理・利用に関する包括的かつ体系的な知識と技術を身につけている人

○カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

農畜産環境とそれを取りまく自然環境を保護から利用まで含めた広い視点で捉え、環境を構成する動物、植物、昆虫、微生物の役割と機能、相互作用、農畜産とのかかわり、そして生態系の保全に関する最新の知識を修得する科目を配置します。

食品科学コース

○養成する人材像

農畜産物を原料とした食品の製造・加工及びその機能性・安全性に関する広範かつ最新の知見や技術を提供するとともに、演習や研究活動を通じた専門教育を行うことにより、食品業界をはじめとしてバイオ産業においても活躍できる高度専門職業人、または食品科学分野の課題について研究できる基礎的な能力を身に付けた研究者を養成する。

○アドミッションポリシー（入学者受入方針）

以下のような人材を求めます。

1. 農畜産物を原料とした食品の製造・加工及びこれらの機能性・安全性に関する高度な知識及び技術及び研究能力を身につけ、食品科学的観点から社会への貢献を目指す人
2. 食品科学に関する学士課程までの基礎知識と基本的技術を身につけている人
3. 農畜産物の加工・利用に関する高度な技術や食品のもつ様々な機能性に関する知識を踏まえて、食品科学分野で自ら研究計画を立案できる人
4. 食品の製造・加工及びこれらの機能性・安全性の諸問題について、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、その結果を説明できる人

○ディプロマポリシー（学位授与方針）

以下の能力を備えた人に学位を授与します。

1. 倫理観：食品科学の知識や社会活動に対する深い理解に基づいた倫理観・道徳観を身につけている人
2. 課題設定・解決力：食品科学における課題を自ら設定し、それに対する解決能力を身につけている人
3. 表現力・コミュニケーション能力：他者の思想や意見を尊重した上で、食品科学分野について、自身の思想

や意見を的確に表現し、意見を交わすためのプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身につけている人

4. 専門的知識・技術：農畜産物の加工・利用及びそれらの機能性・安全性についての高度な知識と技術及び応用力を身につけている人

○カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

農畜産物を原料とした食品の製造・加工及びこれらの機能性・安全性に関して、分子レベルから工業生産レベルまでの広範かつ最新の知識と技術を学ぶための科目を配置します。

農業経済学コース

○養成する人材像

農業経済を中心とする社会科学的視点から俯瞰できるような専門教育を行うことにより、フードシステムにおける特定課題の解決に向けた実践的方策を提示することができる高度専門職業人、または農業経済学分野の課題について研究できる基礎的な能力を身に付けた研究者を養成する。

○アドミッションポリシー（入学者受入方針）

以下のような人材を求めます。

1. 食料生産・流通・消費に関わる農業経済学や経営学の幅広い、高度な知識と技術を身につけ、農業経済学的観点から社会への貢献を目指す人
2. 農業経済学に関する学士課程までの基礎知識と基本的技術を身につけている人
3. 食料生産・流通・消費に関わる農業経済学や経営学の基礎的な知識と基本的な技術を踏まえて、農業経済学分野で自ら研究計画を立案できる人
4. 農業経済学及び経営学の諸問題について、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、その結果を説明できる人

○ディプロマポリシー（学位授与方針）

以下の能力を備えた人に学位を授与します。

1. 倫理観：農業経済学の知識や社会活動に対する深い理解に基づいた倫理観・道徳観を身につけている人
2. 課題設定・解決力：農業経済学における課題を自ら設定し、それに対する解決能力を身につけている人
3. 表現力・コミュニケーション能力：他者の思想や意見を尊重した上で、農業経済学分野について、自身の思想や意見を的確に表現し、意見を交わすためのプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身につけている人
4. 専門的知識・技術：地域の資源を利用し、食料の生産性向上や食の安全を支えるための農業経済に関する高度な知識と技術を身につけている人

○カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

わが国の食料基地と位置づけられる北海道十勝地域の資源活用と、持続可能な物質循環を踏まえ、食料生産・流通・消費に関わる経済学や経営学に関する分野の高度な知識と技術を修得させる科目を配置します。

農業環境工学コース

○養成する人材像

農業環境工学の理論と実践に基づく先進的な農業生産技術と環境保全を両立させるための技術体系に関する専門教育を行うことにより、農業農村工学分野や農業機械システム学分野で活躍できる高度職業専門人、または農業農村工学分野の課題について研究できる基礎的な能力を身に付けた研究者を養成する。

○アドミッションポリシー（入学者受入方針）

以下のような人材を求めます。

1. 農業工学的素養を基礎として、環境と調和した生産技術改善と地域環境保全の知識を身につけ、農業環境工学的観点から社会への貢献を目指す人
2. 農業環境工学に関する学士課程までの基礎知識と基本的技術を身につけている人
3. 生産技術改善と地域環境保全に関する基礎的な知識と基本的な技術を踏まえて、農業環境工学分野で自ら研究計画を立案できる人
4. 農業工学的素養を基礎として生産技術と地域環境の諸問題について、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、その結果を説明できる人

○ディプロマポリシー（学位授与方針）

以下の能力を備えた人に学位を授与します。

1. 倫理観：農業環境工学の知識や社会活動に対する深い理解に基づいた倫理観・道徳観を身につけている人
2. 課題設定・解決力：農業環境工学における課題を自ら設定し、それに対する解決能力を身につけている人

3. 表現力・コミュニケーション能力：他者の思想や意見を尊重した上で、農業環境工学分野について自身の思想や意見を的確に表現し、意見を交わすためのプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身につけている人
4. 専門的知識・技術：地域の資源を利用し、食料の生産性向上を支えるための生産技術や環境制御に関する高度な知識と技術を身につけている人

○カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

わが国の食料基地と位置づけられる北海道十勝地域の資源を活用し、持続可能な物質循環や地域資源を踏まえ、機械的・生物学的手法や土木技術手法による食料生産環境の改善に関する分野の高度な知識と技術を修得させる科目を配置します。

植物生産科学コース

○養成する人材像

作物生産を支える土壌管理から畑作物と飼料作物の育種と栽培、病害虫管理及び草地利用までについて、ラボワークでの基礎からフィールドワークでの実証に至る専門教育を行うことにより、農畜産業の基盤づくりを担える高度専門職業人、または植物生産科学分野の課題について研究できる基礎的な能力を身に付けた研究者を養成する。

○アドミッションポリシー（入学者受入方針）

以下のような人材を求めます。

1. 植物の生理、生態、遺伝や土壌に関する高度な知識をもとにした植物生産の量的・質的向上の高度な知識及び技術及び研究能力を身につけ、植物生産科学的観点から社会への貢献を目指す人
2. 植物生産科学に関する学士課程までの基礎知識と基本的技術を身につけている人
3. 栽培植物の改良や生産と土壌及び病害虫に関する知識や技術を踏まえて、植物生産科学分野で自ら研究計画を立案できる人
4. 植物生産の量的・質的向上の諸問題について、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、その結果を説明できる人

○ディプロマポリシー（学位授与方針）

以下の能力を備えた人に学位を授与します。

1. 倫理観：植物生産科学の知識や社会活動に対する深い理解に基づいた倫理観・道徳観を身につけている人
2. 課題設定・解決力：植物生産科学における課題を自ら設定し、それに対する解決能力を身につけている人
3. 表現力・コミュニケーション能力：他者の思想や意見を尊重した上で、植物生産科学分野について、自身の思想や意見を的確に表現し、意見を交わすためのプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身につけている人
4. 専門的知識・技術：地域の資源を利用し、食料の生産性向上を支えるための食料生産原理や生産技術に関する高度な知識と技術を身につけている人

○カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

わが国の食料基地と位置づけられる北海道十勝地域の資源を活用し、持続可能な物質循環や地域資源を踏まえ、植物の生理、生態、遺伝や土壌に関する高度な知識をもとにした植物生産の量的・質的向上に関する分野の高度な知識と技術を修得させる科目を配置します。

3 畜産衛生学位プログラムについて

畜産衛生学位プログラムとは、農作物・食品等の国境を越えた流通拡大を背景として企業等に求められている国際安全衛生基準の取得・維持に対応できる人材を育成するため、本学がこれまで旧畜産衛生学専攻において実践してきた「食の安全確保」に関する高度な専門教育を、全コースの学生が履修可能な学位プログラムとして発展させたものです。

このプログラムでは、農畜産物をはじめとする食の安全衛生に関するマネジメントシステム等の専門教育を国際基準に適応した実習環境において行うことにより、優れた実践力及び応用力を身につけた畜産衛生の専門家を養成します。

本プログラム受講者は、博士前期課程の共通必修科目、共通選択科目を履修の上、プログラム必修科目・選択必修科目・「畜産衛生課題研究」（企業等研修）ないし所属コースの「特別研究Ⅱ」を履修する必要があります。

注1：「畜産衛生課題研究」（4単位）とは、修士論文に代わり、6週間以上の企業研修等を通じて課題研究を行うものです。本プログラム受講者で修士論文を作成する場合は、所属コースの「特別研究Ⅱ」（4単位）を履修します。

注2：本プログラム受講者は、1年次終了時に修士（農学）または修士（畜産衛生学）の学位選択を行います。

畜産衛生学位プログラム

○養成する人材像

HACCP システム専門家教育、六次産業化を目指した新加工技術の開発・製品開発に関する教育を実践的かつ体系的に行うことで、食品安全マネジメントシステムに関する知識及び技術を修得し、企業等と連携して、その知識・技術を現場へ応用できる人材を育成する。

○ディプロマポリシー（学位授与方針）

以下の能力を備えた人に学位を授与します。

畜産物をはじめとする食品の国際安全衛生基準での衛生管理・品質保証に関する高度かつ総合的な知識と技術を有し、優れた実践力及び応用力を身につけている人

○カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

国際安全衛生基準の食品安全マネジメントシステムに関する知識及び技術を実践的かつ体系的に学ぶ授業科目を配置します。さらに企業等と連携し、それらの知識・技術の現場への応用を目指す演習科目を配置します。

4 課程の修了及び学位の授与

本学大学院畜産学研究科畜産科学専攻（博士前期課程）に2年以上在学して所定の単位（通常のコースの場合は30単位以上、畜産衛生学位プログラムの場合は32単位以上）を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文又は成果報告の審査及び関連科目の最終試験に合格した者を課程の修了者とし、コースに応じて下記の学位を授与します。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、研究科に1年以上在学すれば足りるものとします。

専攻名	コース名	学位
畜産科学専攻	動物医科学コース	修士（動物医科学）または修士（畜産衛生学）※
	家畜生産科学コース	修士（農学）または修士（畜産衛生学）※
	環境生態学コース	
	食品科学コース	
	農業経済学コース	
	農業環境工学コース	
	植物生産科学コース	

※ 修士（畜産衛生学）については畜産衛生学位プログラムの修了者のみ選択可

5 社会人の受入れについて

本学大学院畜産学研究科畜産科学専攻（博士前期課程）では、大学等を卒業し企業や官公庁、教育現場などで活躍しながら、さらに高度な学識や技術を習得するために大学院へ進学しようとする社会人を受け入れるために、社会人特別選抜の制度を設けています。社会人特別選抜では、一般選抜の学力検査に代えて、面接と書類審査によって社会人としての実績や資質、研究への意欲に重点を置いた選抜を行います。

なお、出願に際しては入学後の研究内容や履修方法などについて、主指導を希望する教員とあらかじめ協議してください。

6 長期履修制度について

長期履修制度は、職業を有するなどの事情により、標準修業年限を越えた一定の期間（4年以内）で計画的に教育課程を履修し課程を修了したい方に、標準修業年限の学費で、その長期の計画的な履修を認めるものです。

長期履修を希望する方は、あらかじめ主指導を希望する教員と相談の上、原則として入学手続き時に申請書を提出してください。

7 大学院畜産学研究科博士前期課程畜産科学専攻担当教員一覧

動物医科学コース

氏名	職名	研究分野	
		名称	内容
五十嵐 慎	教授	獣医寄生虫学	原虫の宿主細胞内寄生機構に関する研究
石井 利明	教授	獣医薬理学	脳神経系における生理機能の発現や病態形成における分子機構の解明
石川 透	教授	細胞生理学	上皮膜輸送に関与するイオンチャネルおよびトランスポーターの細胞内調節機構と構造機能連関
猪熊 壽	教授	大動物内科学	大動物の内科疾患の診断法および治療法に関する研究
小川 晴子	教授	獣医伝染病学	動物ウイルス病についての研究
河津 信一郎	教授	獣医寄生虫学	原虫ゲノム・タンパク質機能情報に基づいた新たなワクチン・治療法の開発
川本 恵子	教授	獣医微生物学	1) 水性・陸生動物由来感染症の発生機序, 病態, 疫学及び診断法に関する研究 2) アレルギー疾患
倉園 久生	教授	獣医微生物学	細菌感染症における蛋白毒素の役割
玄 学南	教授	獣医寄生虫病学	原虫感染に対する宿主防御免疫の解析と組換えワクチンの開発
古林 与志安	教授	獣医病理学	動物疾患の病理発生機序解明と診断法の確立
佐々木 基樹	教授	獣医解剖学	脊椎動物の機能形態学
鈴木 宏志	教授	実験動物学	発生工学による遺伝子の機能解析及び発生・生殖工学的技術開発
南保 泰雄	教授	馬繁殖学	1) 馬の臨床繁殖学 2) 繁殖生物学 3) 生殖内分泌学等に関する研究
西川 義文	教授	獣医寄生虫病学	家畜原虫病の疫学調査及びその制御法の確立
古岡 秀文	教授	獣医病理学	神経筋疾患の病理, 感染症の病理(動物プリオン病, <i>Lawsonia</i> 感染症等)
松井 基純	教授	獣医臨床繁殖学	ウシの卵巣および子宮機能異常による繁殖障害の病態生理の解明
山岸 則夫	教授	獣医臨床病理学	牛疾患の病態と診断・治療法
横山 直明	教授	獣医寄生虫病学	家畜原虫病の疫学調査及びその制御法の確立
奥村 香世	准教授	細菌学	細菌の病原性分子機構の解明とその診断法の確立
久保田 彰	准教授	毒性学	人工化学物質の生体影響と作用機序に関する研究
都築 直	准教授	画像診断学	産業動物に対する画像診断に関する研究
富張 瑞樹	准教授	外科学, 腫瘍学, 分子生物学, 免疫学	1) 低侵襲性の外科処置に関する研究 2) 悪性黒色腫の腫瘍関連抗原の発現性に関する研究 3) 肥満細胞腫の遺伝的素因に関する研究
豊留 孝仁	准教授	獣医真菌学	1) 真菌症 2) マイコトキシン中毒 3) 食品真菌学

氏名	職名	研究分野	
		名称	内容
廣井豊子	准教授	獣医公衆衛生学	病原細菌（食品有害細菌，人獣共通感染症起因細菌）に関する細胞分子生物学的研究（病原性発現機序や診断・検出法の開発）
福本晋也	准教授	獣医寄生虫学	ベクターにおける病原体感染成立機構
松本高太郎	准教授	獣医内科学	大動物の感染症の診断および治療に関する研究
室井喜景	准教授	獣医薬理学	動物の本能行動を司る神経機構の解明
山崎栄樹	准教授	食品衛生学	食品有害微生物検査法の構築
茅野光範	講師	生物統計学	医学，農学に関する統計学と応用研究

家畜生産科学コース

氏名	職名	研究分野	
		名称	内容
※木田克弥	教授	家畜生産衛生学 予防獣医学	1) 乳牛の飼養管理や給与飼料品質と健康（疾病）の関係 2) 乳牛の生産獣医学
口田圭吾	教授	家畜育種学	肉用牛の客観的評価値をベースとした統計遺伝学
手塚雅文	教授	生殖生理学	家畜の卵巣生理，卵子成熟，受精，胚発生に関する研究
西田武弘	教授	家畜飼養学	反芻家畜の栄養生理および飼料評価
宮本明夫	教授	家畜繁殖学	受胎性に関わる免疫機能：精子・初期胚と母体の生殖器官のクロストーク
Acosta Ayala Tomas Javier	准教授	家畜生産学・家畜防疫	家畜防疫学・現場における牛生産性効率の向上
川島千帆	准教授	家畜栄養学・繁殖学	1) 周産期の栄養代謝状態と繁殖機能に関する研究 2) 妊娠期の母体と胎子の栄養代謝に関する研究
瀬尾哲也	准教授	家畜行動学・アニマルウェルフェア	家畜の行動およびアニマルウェルフェアに関する研究
萩谷功一	准教授	家畜育種学	量的遺伝学を基礎とした乳用牛の遺伝的改良
花田正明	准教授	草地利用学	草類・農産加工副産物などの地域飼料資源からの家畜生産の生産効率改善ならびに持続性向上についての教育・研究
松長延吉	准教授	家畜生理学	成長に関する代謝ホルモン，血液中間代謝物

※印の教員は定年のため，指導可能期間が令和3年3月31日までとなりますので，入学後の指導体制について事前に相談してください。

環境生態学コース

氏名	職名	研究分野	
		名称	内容
押田龍夫	教授	野生動物学	哺乳類の生態学および系統地理学的研究
熊野了州	准教授	昆虫生態学	昆虫の行動生態学および個体群生態学
橋本靖	准教授	菌類生態学	森林や農地における植物に共生するカビ・きのこ類の生態学的研究
浅利裕伸	特任講師	環境生態学	開発による野生動物への影響と保全，獣害，樹上性哺乳類の生態に関する研究

食品科学コース

氏名	職名	研究分野	
		名称	内容
浦島 匡	教授	乳機能科学	乳、乳製品の機能性、乳酸菌の役割
大和田 琢二	教授	応用微生物学	植物と微生物の共生に関する研究
木下 幹朗	教授	食品機能学	食品成分中における機能性脂質の生化学的研究
小嶋 道之	教授	生物化学	生物機能に影響を及ぼす成分の構造および作用機序の解析
島田 謙一郎	教授	食肉科学	食肉科学に関する応用研究
福島 道広	教授	栄養生化学	栄養生化学およびその分子生物学に関する理論と応用
山内 宏昭	教授	食品工学	農畜産物の高度加工・利用に関する理論と応用
中村 正	准教授	酪農科学	乳の加工・利用に関する応用研究
韓 圭鎬	准教授	食品科学	生物資源の健康機能性に関する研究
福田 健二	准教授	食品科学	乳タンパク質および乳酸菌の機能性に関する研究

農業経済学コース

氏名	職名	研究分野	
		名称	内容
金山 紀久	教授	農業経済学 フードシステム学	1) 地域農業の展開 2) フードシステム 3) 農業技術の開発と普及に関する経営経済学的研究
姜 興起	教授	統計学	1) 統計データ解析 2) 地域経済や農業経済の統計分析
耕野 拓一	教授	農業経済学	1) 経済疫学 2) 開発経済学 3) 畜産開発と貧困削減
志賀 永一	教授	農業経済学	地域農業における大規模経営体の行動論理に関する研究
仙北谷 康	教授	農業経済学	1) 農場における衛生管理高度化の経済分析 2) 農産物流通の比較構造分析

農業環境工学コース

氏名	職名	研究分野	
		名称	内容
梅津 一孝	教授	生物資源工学	畜産におけるエネルギー及び窒素循環の構築を目的とした高度エネルギー変換発酵法並びに窒素化合物の利用法開発
岸本 正	教授	農業機械学	1) 農用車両走行装置の動力学的特性の解析 2) 家畜ふん尿の土壌還元技術に関する研究
佐藤 禎稔	教授	農業機械学・農業情報学	1) 大規模農業における農作業システム工学に関する研究 2) スマート農業・農業ロボットに関する研究
※辻 修	教授	農地保全学	1) 寒冷地における土壌浸食防止 2) GISを用いた耕地防風林に関する研究
宗岡 寿美	教授	農業農村工学	1) 農林地流域の河川水質環境と土地利用評価 2) 斜面の保全と緑化工技術の応用
木村 賢人	准教授	農業気象学	1) 雪氷冷熱を利用した農業施設に関する研究 2) 冷熱資源の分布特性とその利用適地に関する研究
宮竹 史仁	准教授	生物資源循環工学	堆肥化およびバイオマス資源循環に関する理論と技術

※印の教員は定年のため、指導可能期間が令和3年3月31日までとなりますので、入学後の指導体制について事前に相談してください。

植物生産科学コース

氏名	職名	研究分野	
		名称	内容
加藤 清明	教授	植物分子育種学	植物育種における分子的基礎と応用
小池 正徳	教授	昆虫病理学	昆虫寄生性菌類による生物的防除
谷 昌幸	教授	土壌学	農耕地における土壌肥沃度の評価と改善に関する研究
平田 昌弘	教授	牧野生態学・文化人類学	1) 乾燥地での牧野生態系と環境保全の研究 2) 乾燥地での牧畜生業と乳文化論の研究
三浦 秀穂	教授	植物遺伝・育種学	ムギ類及びマメ類の適応性と品質に関する教育研究
秋本 正博	准教授	作物学	食用作物、および飼料作物の栽培法の改善
大西 一光	准教授	植物育種学	作物の量的形質に関する遺伝育種学的研究

出願書類の提出・問い合わせ先

〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地
 帯広畜産大学 入試・教務課入学試験係
 TEL 0155-49-5321 (入学試験係直通) (月～金 8:30～17:15)
 E-mail nyushi@obihiro.ac.jp

帯広畜産大学ホームページのご案内

ホームページには、入試情報、各専攻の紹介、大学の概要等が載っています。
 アドレスは、次のとおりです。 <https://www.obihiro.ac.jp/>

1. Number of Students to be Admitted

Program	Specialty	Number of students to be admitted	
		General Admission	Special Selection for Mature Applicants
Master's Program of Animal Science and Agriculture	Veterinary Life Science	Limited	Limited
	Animal Production		
	Ecology and Environmental Science		
	Food Science		
	Agricultural Economics		
	Engineering for Agriculture		
	Plant Production Science		

*The admitted number is the total for the Master's Program of Animal Science and Agriculture. There is no fixed number for each Specialty.

*See page 25 and after for outlines of the Specialty and supervisors.

2. Application Criteria

(1) General Admission (including international students)

To apply for General Admission, one must meet one of the following criteria:

- ① Those who are graduates of a university or college, or are expected to do so on or before September 30, 2019.
- ② Those who have been awarded a bachelor's degree according to Article 104, Section 4 of the School Education Law or who are expected to do so on or before September 30, 2019.
- ③ Those who have successfully completed 16 years of formal education abroad, or are expected to do so on or before September 30, 2019.
- ④ Those who have taken a correspondence course from an overseas educational institution in Japan and completed 16 years of formal education, or are expected to do so on or before September 30, 2019.
- ⑤ Those who have completed an undergraduate program of an overseas-based educational institute located in Japan that has been approved by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, whose graduates are regarded as having completed 16 years of formal education, or are expected to do so on or before September 30, 2019.
- ⑥ Those who have been conferred, or expect to be conferred by September 30, 2019, a degree equivalent to a bachelor's degree through attending an overseas university or other overseas school (limited to those whose education and research activities have been evaluated by persons who have been certified by the relevant country's government or a related institution, or have been separately designated by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology as being equivalent to such) and graduated from a program that requires 3 or more years to complete (including graduating from a program implemented by the relevant overseas school while living in Japan through distance learning, as well as graduating from a program implemented by an educational facility established with the relevant overseas country's school education system and have received the designation mentioned above). [Note 1]
- ⑦ Those who have completed a four-year or longer professional program approved by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, conducted by a vocational school, after the date set by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, or are expected to do so on or before September 30, 2019.
- ⑧ Those who are deemed eligible by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology (Bulletin No. 5, Ministry of Education, 1953).
- ⑨ Those who have been enrolled in a university for 3 years or longer, or have completed 15 years of formal education attending an overseas educational institution, taking correspondence courses in Japan conducted by an overseas educational institution, or attending an undergraduate program at an overseas-based educational institute located in Japan that has been approved by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, and have been recognized by the Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Graduate School as having earned specified credits with excellent grades. [Note 2]
- ⑩ Those who were enrolled in another graduate school according to Article 102, Section 2 of the School Education Law, and are recognized as having appropriate academic ability for receiving graduate school education by the Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Graduate School. [Note 2]

- ⑪ Those who are 22 years old or older, and recognized in the preliminary selection by the Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Graduate School as having equal to or higher academic ability than persons who are graduates of a university or college. [Note 2]

Note 1 : International applicants from countries in which it takes less than 16 years to complete formal education to the university level who don't satisfy criteria ⑥ above need to choose the preliminary selection specified in ⑪.

Note 2 : Applicants who satisfy criteria ⑨, ⑩ or ⑪ need to refer to “3. Authorization for Qualified Applicants” on page 20.

(2) Special Selection for Mature Applicants (including international students)

To apply for the Special Selection for Mature Applicants, one must meet the criteria outlined in ① and ②:

- ① A person who has been employed in either a public organization, private company, educational or research institute, or has been self-employed or a homemaker for 2 years or more.
- ② A person who meets at least one of the items i~ix below:
- i. Those who graduated university or college on or before September 30, 2017.
 - ii. Those who have been awarded a bachelor's degree on or before September 30, 2017 according to Article 104, Section 4 of the School Education Law.
 - iii. Those who successfully completed 16 years of formal education abroad on or before September 30, 2017.
 - iv. Those who have taken a correspondence course from an overseas educational institution in Japan and completed 16 years of formal education on or before September 30, 2017.
 - v. Those who have completed an undergraduate program on or before September 30, 2017 at an overseas-based educational institute located in Japan that has been approved by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, whose graduates are regarded as having completed 16 years of formal education.
 - vi. Those who have been conferred a degree equivalent to a bachelor's degree through attending an overseas university or other overseas school (limited to those whose education and research activities have been evaluated by persons who have been certified by the relevant country's government or a related institution, or have been separately designated by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology as being equivalent to such) and graduated from a program that requires 3 or more years to complete (includes graduating from a program implemented by the relevant overseas school while living in Japan through distance learning, as well as graduating from a program implemented by an educational facility established with the relevant overseas country's school education system and has received the designation mentioned above), on or before September 30, 2017. [Note 1]
 - vii. Those who have completed a four-year or longer professional program approved by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, conducted by a vocational school, after the date set by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, on or before September 30, 2017.
 - viii. Those who are deemed eligible by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology (Bulletin No. 5, Ministry of Education, 1953).
 - ix. Those who are 22 years old or older, and recognized in the preliminary selection by the Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Graduate School as having equal to or higher academic ability than persons who are graduates of a university or college. [Note 2]

Note 1: International applicants from countries in which it takes less than 16 years to complete formal education to the university level who don't satisfy criteria ② vi above need to choose the preliminary selection specified in ② ix.

Note 2: Applicants who satisfy criteria ②ix above need to refer to “3. Authorization for Qualified Applicants” on page 20.

3. Authorization for Qualified Applicants (If applicable)

Those who will apply under the following application criteria have to be authorized as qualified applicants. Submit the documents in the table below by the deadline. If you send the documents by mail, use registered express mail.

Documents to submit	General Admissions criterion ⑨	(1) Application form for qualified applicant authorization* (2) Certificate of enrollment (3) Academic transcript
	General Admissions criterion ⑩	(1) Application form for qualified applicant authorization* (2) Academic transcript (3) Certificate of enrollment in the graduate school
	General Admissions criterion ⑪	(1) Application form for qualified applicant authorization* (2) Graduation/completion certificate from the last school you attended (3) Academic transcript
	Special Selection for Mature Applicants criterion ②ix	(4) Research certificate (including period of time and contents of your research) (5) Materials from research results
Deadline		Friday, July 5, 2019
Submit to:		Entrance Examination Office Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine 11 Nishi 2, Inadacho, Obihiro, Hokkaido 080-8555, Japan

*The application form for the authorization for qualified applicants is available on our website at <https://www.obihiro.ac.jp/en/grad-adm>

4. Advance Consultation for Applicants with Physical Disabilities

Applicants with physical disabilities are advised to consult with the Entrance Examination Office by the deadline below, as special consideration may be necessary for taking the examination or studying. Those who use a hearing aid, crutches, or a wheelchair are also advised to consult the Entrance Examination Office, as special arrangements at the examination sites and other locations may be necessary.

Documents to submit	(1) Application for Consultation * (2) Medical Certificate (3) Other documents that show the conditions of disabilities (e.g. a copy of the disability certificate)
Deadline	Monday, July 22, 2019
Submit to:	Entrance Examination Office Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine 11 Nishi 2, Inadacho, Obihiro, Hokkaido 080-8555, Japan

*The application form for consultation is available on our website at <https://www.obihiro.ac.jp/en/grad-adm>

5. Application Procedure

(1) Application documents (General Admission and Special Selection for Mature Applicants)

Application documents		General Admission	Special Selection for Mature Applicants	Summary
1	Application form, exam admission card, and photograph card	Yes	Yes	Fill out the prescribed form except columns marked with.* The photo (4 cm high x 3 cm wide) must have been taken within 3 months prior to application. The portrait must be a full face, front view, without a hat, and wearing glasses if you expect to do so at the exam. Write your full name and the Specialty you are applying for on the back of the photo and glue it to the designated spot.
2	Receipt of the examination fee (with date stamped)	If applicable	If applicable	Pay 30,000 yen for the examination fee and glue the receipt to the specified area on the application form. See (2) for payment method on Page 22. *Government-financed international students do not have to pay the fee. Submit the certificate of government-financed international student, which is issued by your college. (A copy is acceptable.)
3	Research proposal	Yes	Yes	Describe the research you intend to do in the Master's Program. See (3) Guideline of Research proposal on Page 22.
4	Certificate of graduation, or certificate of expected graduation	If applicable	If applicable	*Graduates (graduates to be) of the Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine or government-financed international students do not need to submit. *Those who satisfy General Admission criteria ⑨ have to submit a certificate of enrollment.
5	Academic transcript	If applicable	If applicable	Must be sealed *Graduates (graduates to be) of the Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine or government-financed international students do not need to submit.
6	Name and address card (for sending notification of admission)	Yes	Yes	Fill out your name, address and postal code on the prescribed form.
7	Self-addressed stamped envelope for sending the exam admission card	Yes	Yes	Fill out your name, address and postal code, and put postage stamps worth 362 yen on the prescribed small envelope. *The stamps are unnecessary if you choose to come to the Entrance Examination Office to pick up the card. Just write your name on the envelope.
8	TOEFL-iBT Examinee Score Report/ TOEIC L&R Official Score Certificate/ IELTS Test Report Form	Only those who wish to be exempt from the English test	No	Submit the original certificate of one of the following exams. Tests which were taken after April 1, 2017 are acceptable. TOEIC L&R (including TOEIC-IP): 650 or higher TOEFL-iBT: 67 or higher IELTS Academic-Module: 5.5 or higher
9	Certificate of Residence, or copy of Residence Card	Only international students	Only international students	Certificate of Residence must be one issued within 6 months before the date of submission, and must contain the description of visa status and period of stay.
10	Letter of recommendation	No	Yes	Submit a letter of recommendation from the head of the office/company of current or previous employment, or a letter of self-recommendation.
11	Curriculum vitae or Resume	No	Yes	A list that shows your achievements and duties, which may include published articles, technical reports, patents, utility models, and/or graduation theses.

Note: A Japanese translation must be attached to certificates which are issued in languages other than Japanese or English

(2) Payment method for examination fee

Pay the examination fee using the prescribed form at a post office or Japan Post Bank within the designated payment period as indicated below.

Note that post offices and Japan Post Banks are normally open from 9:00 to 16:00 on weekdays and closed on Saturdays, Sundays and national holidays.

Examination	Payment Period
General Admission and Special Selection for Mature Applicants	From Tuesday, July 9, 2019 to Monday, July 22, 2019

Note 1: The examination fee is not refundable except upon request in the following cases:

- a. The payer did not apply.
- b. The application has been rejected.
- c. The applicant has paid the examination fee twice.

*For further information about the refund, contact:

Entrance Examination Office

Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

E-mail: nyushi@obihiro.ac.jp

Note 2: An application will be rejected if the examination fee is not paid or the payment receipt is not dated by the post office or Japan Post Bank.

(3) Guideline of research proposal

You must consult your prospective supervisor before making the research proposal. The proposal must be within 1,000 characters in Japanese, or one A4 sheet in English. It must include the following three points:

1. Background and purposes of the research (in detail)
2. Outline of research method (You do not need to describe research techniques in detail. Just briefly explain the outline of the whole research procedure.)
3. Expected research results (Detailed description is not necessary. Briefly describe expected results in context of the research purposes.)

*The form for the research proposal is available on our website at <https://www.obihiro.ac.jp/en/grad-adm>

(4) Application method and application period

Enclose all the application documents in the prescribed envelope or an A4-sized envelope and bring it directly to the University or send it by mail.

① Direct Application: Accepted between 8:30 and 17:00, Monday through Friday.

② Mailed Application:

The documents must be sent by registered special delivery mail. **The documents have to arrive by 17:00 on the last day of the application period.** Documents arriving later than this will not be accepted, so be sure to send them early enough to avoid postal delays.

Examination	Application Period
General Admission and Special Selection for Mature Applicants	From Tuesday, July 16, 2019 to Monday, July 22, 2019

(5) Submit the application documents to:

Entrance Examination Office, Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

11 Nishi 2, Inadacho, Obihiro, Hokkaido 080-8555, Japan

Note: The application documents will not be returned.

6. Method of Selection

(1) General Admission

Results from the examination of academic ability and interview (about the research proposal and the academic transcript) will be examined.

Description	Allotment of marks	Summary
English	100	Common questions Japanese Applicants : Translation from English to Japanese Foreign Applicants : Summarization in English Note: Those who satisfy one of the test score below are exempted from the English examination and are given 80-100 points according to our graduate school regulation. The test score must be taken after April 1, 2017. TOEIC L&R (including TOEIC-IP): 650 or higher TOEFL iBT: 67 or higher IELTS Academic-Module: 5.5 or higher
Short essay	200	Applicants must write about two topics: a common topic with information presented, about which you need to dissertate, and a topic from the Specialty, in which you need to explain technical terms about basic knowledge of each Specialty.
Interview	100	Personal interview by multiple interviewers from the Specialty

(2) Special Selection for Mature Applicants

Results from the interview (about the letter of recommendation, the research proposal, the academic transcript and the curriculum vitae/resume) will be examined.

Description	Allotment of marks	Summary
Interview	100	Personal interview by multiple interviewers from the Specialty

7. Time, Date and Location of Examination

(1) Starting in October, 2019

① General Admission

Date	Description	Time	Location
Tuesday, August 20, 2019	Short Essay	10:30— 12:00	Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine
	English	13:00— 14:30	
Wednesday, August 21, 2019	Interview	9:00—	

② Special Selection for Mature Applicants

Date	Description	Time	Location
Wednesday, August 21, 2019	Interview	9:00—	Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

Note: From 10:00 a.m. on Monday, August 19, 2019, the location of the examination room will be posted at the entrance of the General Research Building I However, entry into the examination room is not allowed.

8. Notification of Admission

(1) Schedule

Examination	Date
General Admission and Special Selection for Mature Applicants	10:00 a.m., Tuesday, August 27, 2019

The code numbers of accepted students are displayed at the entrance of the General Research Building I and on the website (<https://www.obihiro.ac.jp/en>).

- (2) The successful applicants who have been studying in Obihiro University should come to the Entrance Examination Office with admission card and receive the notification of admission and the documents necessary for enrollment procedures. To the other successful applicants, these documents are sent by mail.
- (3) Telephone enquiries regarding admission are not accepted.

9. Enrollment Procedures

(1) Enrollment period

Examination	Period
General Admission and Special Selection for Mature Applicants	From Tuesday, August 27, 2019 to Friday, September 13, 2019

***The documents have to arrive by 17:00 on the last day.**

- (2) Enrollment fee: 282,000 yen
- (3) Other expenses
Fee for disaster/accident insurance for students in education/research: 2,470 yen
(Insurance for accidental injury in University activities)

Tuition (subject to change)

First semester: ¥267,900, Second semester: ¥267,900,

*The above tuition is the current amount. If the tuition is changed at the time of entrance or while enrolled, the new tuition will be charged from the time of change.

*Payment deadline is the end of April for the first semester tuition and the end of October for the second semester tuition.

10. Privacy Statement

- (1) Any personal information we acquire is strictly protected under the "Law on Protection of Personal Information Held by Independent Administrative Agencies" and the "National University Corporation Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Management Regulations of Personal Information."
- (2) Personal information such as your name and address that is sent during the application process is used for selection, notification of admission, enrollment procedures, survey and research on selection methods and additional procedures.
- (3) Personal information such as the examination results acquired in the process of selection is used for survey and research on selection and selection methods.
- (4) For successful applicants only, personal information mentioned above in (2) and (3) is also used for the purposes of school affairs (e.g., study guidance) and student support (e.g., scholarship application and tuition exemption application) after entering Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine.

Description of the Master's Program
Animal Science and Agriculture
Graduate School of Animal and Veterinary Sciences and Agriculture
Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

The mission of the Graduate School is to make a contribution to the local and the global communities through the development of practical science through intellectual creation and practice, and by fostering the professionals who will support food production and people's lives. Under such philosophy and purpose, we provide the following education policies:

1. Education Policy of the Master's Program of Animal Science and Agriculture

Admission Policy

The Master's Program of Animal Science and Agriculture at the Graduate School of Animal and Veterinary Science and Agriculture aims to train persons who have strong issue-resolving skills and a wide range of knowledge on animal science and agriculture, specifically in food safety. We implement written examinations on specialized areas and languages, and interviews to evaluate examinees' research plans and abilities in order to recruit students:

1. Who can act with an international perspective and aim to be professionals with highly advanced skills in animal science and agriculture,
2. Who have acquired basic knowledge and skills at the level of undergraduate studies related to the specific topics of the respective Specialties,
3. Who have acquired basic knowledge and skills that enable them to create research plans for the respective Specialties, and
4. Who are extremely interested in issues of food safety, productivity improvement and environmental conservation, and tackle these issues from a perspective of fusing agriculture, animal science, and veterinary science.

Diploma Policy

In the Master's Program of Animal Science and Agriculture, the degree shall be conferred on persons who have taken the courses set up in the curriculum and obtained the required credits to complete the program, who have obtained advanced research skills and wide perspectives that enable them to resolve issues of food safety and other issues in agricultural and livestock science using their up-to-date knowledge and skills in animal science and agriculture such as veterinary life science, animal production, ecology and environmental science, food science, agricultural economics, engineering for agriculture, plant production science, and interdisciplinary fields including these, and who have acquired the following skills:

1. Ethics: Ethics and morals correspondent to social standards and commensurate with a specialist
2. Abilities to identify and resolve issues on their own in life, food, and environmental science while keeping globalization in mind, and resolve them.
3. Communication skills: Presentation skills necessary to explain their process of thinking and making judgments with a global viewpoint.
4. Technical knowledge and skills: knowledge and skills on respective Specialties in this master's program commensurate with advanced professionals, or basic skills commensurate with researchers on issues in respective Specialties, from the perspective of fusing agriculture, animal science, and veterinary medicine.

Curriculum Policy

In order to have the students acquire the knowledge and skills specified in the diploma policy of the Master's Program of Animal Science and Agriculture, we provide education paying attention to the following points:

1. Developing ethics: we offer courses to develop ethics using e-learning.
2. Developing abilities to identify and resolve issues: we offer courses using active learning to brush up logical thinking and develop abilities to identify and resolve issues on securing food safety, improving productivity, and conserving the environment.
3. Developing practical skills with a global viewpoint: we offer courses to improve skills in making presentations and writing in English so that students acquire the English skills necessary to be globally active. We also offer internships, training abroad, and research presentations, where students can practice the expression and communication skills they

have acquired.

4. Forming a rich culture and a broad academic foundation: we offer common general courses, which enable students to acquire a rich culture, and special core courses, which enable them to advance their specialty. At the same time, special courses of other Specialties are offered as elective courses so that students can acquire highly specialized interdisciplinary knowledge.

2. Educational Policies of Respective Specialties

Veterinary Life Science

Persons We Train

We accept students who have completed an undergraduate program other than veterinary medicine, and provide them with knowledge on basic veterinary life science, animal pathobiology, studies of animal infectious diseases, studies of etiology and control of animal diseases, and animal clinical science. We train advanced professionals who can offer a variety of knowledge about animals to society.

Admission Policy

We want students:

1. Who have acquired advanced knowledge, skills, and research abilities on basic veterinary life science, animal pathology, studies of animal infectious diseases, studies of etiology control, and animal clinical science, and who aim to contribute to society from a viewpoint of veterinary life science,
2. Who have acquired undergraduate-level basic knowledge and skills on basic biology and agriculture and animal science,
3. Who can set up research plans on their own in the field of veterinary life science based on basic knowledge and skills in basic biology, and
4. Who can use knowledge and information to logically work through issues in basic biology and agriculture and animal science, and explain the results.

Diploma Policy

The degree shall be conferred on persons who have the following traits and abilities:

1. Ethics: ethics and morals based on knowledge of veterinary life science and deep understanding about social activities
2. Issue-resolving skills: abilities to identify issues on their own in veterinary life science, and resolve them.
3. Good communication skills: presentation and communication skills necessary to precisely express their thoughts and opinions, and exchange opinions in veterinary life science fields while respecting others' thoughts and opinions.
4. Technical knowledge and skills: a wide range of technical knowledge of veterinary life science including basic veterinary life science, animal pathobiology, studies of animal infectious diseases, studies of etiology and control of animal diseases, and animal clinical science, and ability to apply and develop these skills and knowledge in society, based on their knowledge of basic biology, and agriculture and animal science.

Curriculum Policy

We offer courses to learn a variety of specialties related to veterinary life science such as basic studies, pathobiology, infectious diseases, etiology and control of animal diseases, and animal clinical science of companion, industrial, experimental, and wild animals.

Animal Production

Persons We Train

We train advanced professionals who have acquired broad and systematic knowledge and skills in biological functions, breeding, reproduction, nutrition, and management of domestic and other animals, and who can flexibly deal with various issues in livestock and life sciences. We also train researchers who have acquired basic skills that enable them to study issues in the fields of livestock and life sciences.

Admission Policy

We want students:

1. Who have acquired advanced knowledge, skills and research abilities on domestic animals and their production management, and who intend to contribute to society using their knowledge and skills of life science and livestock science,
2. Who have acquired undergraduate-level basic knowledge and skills in animal production,

3. Who have acquired advanced knowledge, skills and research abilities in livestock and its production management, and who can set up research plans on their own in the field of animal production, and
4. Who can use knowledge and information to think logically about issues on domestic animals and their production management and explain the results.

Diploma Policy

The degree shall be conferred on persons who have the following traits and abilities:

1. Ethics: ethics and morals based on knowledge of animal production and deep understanding of social activities
2. Issue-resolving skills: abilities to identify issues on their own in livestock and life sciences, and resolve them.
3. Communication skills: presentation and communication skills necessary to precisely express their thoughts and opinions, and exchange opinions in the field of animal production while respecting others' thoughts and opinions
4. Technical knowledge and skills: understanding of the physiology and behavior of domestic animals, and possession of systematic technical knowledge and skills from the basics to applications that lead to genetic improvement and improvement in productivity.

Curriculum Policy

We offer courses in which students can gain an understanding of the physiology and behavior of domestic animals not only from a conventional viewpoint of livestock production but also with considerations of animal welfare and ecosystem, and in which students can acquire up-to-date knowledge and skills from basics to application that lead to genetic improvement and improvement in productivity.

Ecology and Environmental Science

Persons We Train

We train advanced professionals who have acquired broad and systematic knowledge and skills in agricultural and livestock environment and the natural environment surrounding it, and who can flexibly deal with various issues about conservation and management and utilization of the environment. We also train researchers who have acquired basic skills that enable them to study issues in the field of environmental science.

Admission Policy

We want students:

1. Who have acquired broad knowledge, skills and research abilities in conservation and management of agricultural and livestock environments, and natural environments, and who intend to contribute to society using their knowledge and skills in ecological and environmental science,
2. Who have acquired undergraduate-level basic knowledge and skills in ecology and environmental science,
3. Who have acquired knowledge, skills and research abilities in conservation and management of agricultural and livestock environments, and natural environments, and who can set up research plans on their own in the field of ecology and environmental science, and
4. Who can use knowledge and information to think logically about issues on conservation and management of agricultural and livestock environments, and natural environments, and explain the results.

Diploma Policy

The degree shall be conferred on persons who have the following traits and abilities:

1. Ethics: ethics and morals based on knowledge on ecology and environmental science and deep understanding about social activities
2. Issue-resolving skills: abilities to identify issues on their own on ecology and environmental science, and resolve them.
3. Communication skills: presentation and communication skills necessary to precisely express their thoughts and opinions, and exchange opinions in the field of ecology and environmental science while respecting others' thoughts and opinions
4. Technical knowledge and skills: comprehensive and systematic knowledge and skills in roles, functions, and interactions of various organisms that constitute environment, and in conservation, management, and utilization of ecosystems.

Curriculum Policy

We offer courses in which students can, from the perspective of conservation to that of utilization of agricultural and livestock environments, and of the natural environments surrounding them, acquire up-to-date knowledge of the roles, functions, interactions, and relations with agriculture and livestock industry, gain up-to-date knowledge of the animals, plants, insects and

microorganisms that constitute the environment, and attain up-to-date knowledge of conservation of ecosystems.

Food Science

Persons We Train

By providing broad and up-to-date knowledge and techniques for production and processing of foods made from agricultural and livestock ingredients, and about the functionality and safety of such foods, and by conducting professional education through practice and research, we train advanced professionals who can play an active role in food industry and bio industry, and also train researchers who have acquired basic skills that enable them to study issues in the field of food science.

Admission Policy

We want students:

1. Who have acquired advanced knowledge, skills, and research abilities in production and processing of foods made from agricultural and livestock ingredients, and in the functionality and safety of such foods, and who intend to contribute to society from a viewpoint of food science,
2. Who have acquired undergraduate-level basic knowledge and skills in food science,
3. Who can set up research plans on their own in the field of food science based on advanced techniques for processing and utilizing agricultural and livestock products, and on knowledge about various functions that foods have, and
4. Who can use knowledge and information to think logically about issues in food production and processing, and in their functionality and safety, and explain the results.

Diploma Policy

The degree shall be conferred on persons who have the following traits and abilities:

1. Ethics: ethics and morals based on knowledge on food science and deep understanding about social activities
2. Issue-resolving skills: abilities to identify issues on their own in food science, and resolve them
3. Communication skills: presentation and communication skills necessary to precisely express their thoughts and opinions, and exchange opinions in food science while respecting others' thoughts and opinions
4. Technical knowledge and skills: advanced knowledge, skills and application for production and processing of foods made from agricultural and livestock ingredients, and about the functionality and safety of such foods

Curriculum Policy

We offer courses to learn broad and up-to-date knowledge and skills for production and processing of foods made from agricultural and livestock ingredients, and about the functionality and safety of such foods, from the molecular level to the level of industrial production.

Agricultural Economics

Persons We Train

By conducting professional education that enables a broad perspective to be taken from a social scientific viewpoint centered on agricultural economy, we train advanced professionals who can offer practical measures to resolve specific issues in food systems, and also train researchers who have acquired basic skills that enable them to study issues in the field of agricultural economics.

Admission Policy

We want students:

1. Who have acquired broad and advanced knowledge and skills in agricultural economics and business related to food production, distribution and consumption, and who intend to contribute to society from a viewpoint of agricultural economics,
2. Who have acquired undergraduate-level basic knowledge and skills in agricultural economics,
3. Who can set up research plans on their own in the field of agricultural economics based on basic knowledge and skills in agricultural economics and business related to food production, distribution and consumption, and
4. Who can use knowledge and information to think logically about issues on agricultural economics and business, and explain the results.

Diploma Policy

The degree shall be conferred on persons who have the following traits and abilities:

1. Ethics: ethics and morals based on knowledge on agricultural economics and deep understanding about social activities
2. Issue-resolving skills: abilities to identify issues on their own in agricultural economics, and resolve them.

3. Communication skills: presentation and communication skills necessary to precisely express their thoughts and opinions, and exchange opinions in the field of agricultural economics while respecting others' thoughts and opinions
4. Technical knowledge and skills: advanced knowledge and skills in agricultural economy in order to utilize local resources and support the improvement of food productivity and food safety

Curriculum Policy

We offer courses in which students can acquire knowledge and skills in the field of economics and business related to food production, distribution and consumption, and sustainable recycling.

Engineering for Agriculture

Persons We Train

By conducting professional education on systematized techniques that make advanced agricultural production techniques compatible with environmental conservation based on theories and practices of engineering for agriculture, we train advanced professionals who can play an active role in the fields of engineering for agriculture and rural communities, and also train researchers who have acquired basic skills that enable them to study issues in the fields of engineering for agriculture and rural communities.

Admission Policy

We want students:

1. Who have acquired knowledge of regional environmental conservation and of production technique improvement that goes together with the environment, based on the background of engineering for agriculture, and who intend to contribute to society from a viewpoint of engineering for agriculture,
2. Who have acquired undergraduate-level basic knowledge and skills in engineering for agriculture,
3. Who can set up research plans on their own in the field of engineering for agriculture based on basic knowledge and skills in production technique improvement and regional environmental conservation, and
4. Who can use their background of engineering for agriculture to think logically about issues in production techniques and regional environment, and explain the results.

Diploma Policy

The degree shall be conferred on persons who have the following traits and abilities:

1. Ethics: ethics and morals based on knowledge of engineering for agriculture and deep understanding about social activities
2. Issue-resolving skills: abilities to identify issues on their own in engineering for agriculture and resolve them.
3. Communication skills: presentation and communication skills necessary to precisely express their thoughts and opinions, and exchange opinions in the field of engineering for agriculture while respecting others' thoughts and opinions.
4. Technical knowledge and skills: advanced knowledge and skills in production techniques and environmental control in order to support the improvement of food productivity utilizing local resources.

Curriculum Policy

We offer courses in which students can acquire advanced knowledge and skills in the fields related to the improvement of the food production environment by mechanical and biological approaches and approaches using civil engineering techniques, and sustainable recycling and use of regional resources.

Plant Production Science

Persons We Train

By conducting professional education from the basics of laboratory work to fieldwork demonstration on soil management, which supports crop production, breeding and cultivation of field crops and feed crops, pest control, and utilization of grassland, we train advanced professionals who engage in making the foundation for agricultural and livestock industries, and also train researchers who have acquired basic skills that enable them to study issues in the fields of plant production science.

Admission Policy

We want students:

1. Who have acquired advanced knowledge, skills, and research abilities in quantitative and qualitative improvement of plant production based on advanced knowledge of plant physiology, biology and heredity as well as soil, and who intend to contribute to society from a viewpoint of plant production science,

2. Who have acquired undergraduate-level basic knowledge and skills in plant production science,
3. Who can set up research plans on their own in the field of plant production science based on knowledge and skills for improving and producing crop plants, and knowledge and skills in soils and pests, and
4. Who can use knowledge and information to think logically about issues on quantitative and qualitative improvement of plant production, and explain the results.

Diploma Policy

The degree shall be conferred on persons who have the following traits and abilities:

1. Ethics: ethics and morals based on knowledge of plant production science and deep understanding about social activities
2. Issue resolving skills: abilities to identify issues on their own on plant production science, and resolve them
3. Communication skills: presentation and communication skills necessary to precisely express their thoughts and opinions, and exchange opinions in the field of plant production science while respecting others' thoughts and opinions
4. Technical knowledge and skills: advanced knowledge and skills in food production principles and production techniques in order to support the improvement of food productivity utilizing local resources.

Curriculum Policy

We offer courses in which students can acquire advanced knowledge and skills in the field related to quantitative and qualitative improvement of plant production based on advanced knowledge of plant physiology, biology and heredity as well as soil, and sustainable recycling and use of regional resources.

3. Graduate Degree Program of Animal and Food Hygiene

The Graduate Degree Program of Animal and Food Hygiene has been established to train persons who can deal with acquisition and maintenance of the international safety and hygienic standards, which businesses are demanded to meet, as distribution of agricultural products and food beyond nation boundaries is expanding. The program has been developed by making the highly professional education on securing food safety into a graduate degree program that students of any Specialty can take.

The program trains animal and food hygiene specialists with abilities for practice and application, by conducting professional education on management systems for safety and hygiene of agricultural products and other foods in a practical environment that meets international standards.

Students who take this program must take the required and elective courses of this specific program, and the *Studies on Issues of Animal and Food Hygiene* (internship) or the *Special Studies II* of the Specialty they belong to, in addition to the required courses and elective courses common in the master's program.

Note 1: In *Studies on Issues of Animal and Food Hygiene* (4 credits), students study issues through internship at a company for six weeks or longer. Students in this program who write a master's thesis have to take the *Special Studies II* (4 credits) of the Specialty they belong to.

Note 2: Students in this program are to choose the Master's Degree in Agriculture or the Master's Degree in Animal and Food Hygiene after they have completed their first year.

Graduate Degree Program of Animal and Food Hygiene

Persons We Train

By conducting practical and systematic education for HACCP system specialists, and for developing new processing technology and products aiming to create sixth industry businesses, we help students to acquire knowledge and skills in food safety management systems, and by cooperating with companies, we train persons who can apply their knowledge and skills to actual workplaces.

Diploma Policy

The degree shall be conferred on persons who have acquired advanced and comprehensive knowledge and skills in hygienic management and quality assurance of livestock products and other foods under international safety and hygienic standards, and superior abilities in their practice and application.

Curriculum Policy

We arrange classroom courses in which students learn knowledge and skills in food safety management systems under international hygienic standards in practical and systematic manners. Also, cooperating with companies, we arrange

practicums in which students learn to apply their knowledge and skills to actual worksites.

4. Completion of programs and awarding degrees

Students are awarded a degree according to their Specialties after they completed the program, i.e., those who have been enrolled in the Master’s Program of Animal Science and Agriculture, Graduate School of Animal and Veterinary Science and Agriculture of our university for two years or longer, and have earned the required credits (30 credits for regular Specialties, 32 credits for the Graduate Degree Program of Animal and Food Hygiene), who received the necessary research instruction, and passed the examination of their master’s thesis or result report in addition to the final examinations of the relevant courses. However, for those who achieved excellent results, the period enrolled in the graduate school could be shortened to one year.

Program	Specialty	Degree
Animal Science and Agriculture	Veterinary Life Science	Master of Veterinary Life Science, or Master of Animal and Food Hygiene*
	Animal Production	Master of Agriculture, or Master of Animal and Food Hygiene*
	Ecology and Environmental Science	
	Food Science	
	Agricultural Economics	
	Engineering for Agriculture	
	Plant Production Science	

*Those who completed the Graduate Degree Program of Animal and Food Hygiene can choose Master of Animal and Food Hygiene.

5. Admission of Mature Students

The Master’s Program of Animal Science and Agriculture, Graduate School of Animal and Veterinary Science and Agriculture of our university has a special selection for mature applicants to admit students who have completed undergraduate studies, have worked at a company, public office or educational institute, and want to study in a graduate school to acquire more advanced academic knowledge and skills. In the special selection for mature applicants, instead of the examination of academic ability implemented in the general admission, the applicants’ experiences and achievements in society, and enthusiasm for research will be examined by the interview and document screening.

Before application, the applicants have to consult with their prospective supervisors on the contents of their research and what courses they will take.

6. Special long term limit

This system allows students who have a job or other special considerations to complete their degree within an agreed-upon time (maximum of 4 years) beyond the standard term limit and still pay the same fee as those students who complete their degrees in the standard amount of time.

In principle, those who want to use this system have to apply for it at the time they enroll after consulting with their prospective supervisors.

7. Supervisors

Veterinary Life Science

Name	Position	Field of Research	Contents
Makoto Igarashi	Professor	Diseases Control	Parasitism of protozoan parasites
Toshiaki Ishii	Professor	Neuropharmacology	Molecular basis of physiological and pathological manifestations in the central nervous system
Toru Ishikawa	Professor	Cell Physiology	Cellular regulatory mechanisms and structure-function relationships of ion channels and transporters involved in epithelial transport
Hisashi Inokuma	Professor	Large Animal Internal Medicine	Diagnosis and treatment of large animal internal medicine
Haruko Ogawa	Professor	Veterinary Epizootiology	Study on animal viral diseases
Shinichiro Kawazu	Professor	Preventive Medicine for Protozoan Diseases	Development of novel vaccines and therapeutic approaches based on functional analysis of the protozoan genome and proteins
Keiko Kawamoto	Professor	Immunology of Infectious Disease	1) Molecular and epidemiological research on infectious diseases of terrestrial and aquatic animals 2) Allergy and Immunology
Hisao Kurazono	Professor	Protein Toxicology	The role of protein toxins in bacterial infection
XUAN Xuenan	Professor	Host Defense	Studies on analysis of host defense immunity and development of recombinant vaccines against protozoan parasite infections
Yoshiyasu Kobayashi	Professor	Diagnostic Pathology	Pathogenesis and diagnosis of animal diseases
Motoki Sasaki	Professor	Veterinary Anatomy	Functional morphology in vertebrates
Hiroshi Suzuki	Professor	Functional Genomics	Analysis of gene function <i>in vivo</i> by transgenic technology and development of reproductive biotechnology
Yasuo Nambo	Professor	Equine Reproduction	1) Research area for theriogenology 2) Reproductive biology 3) Reproductive endocrinology in horses
Yoshifumi Nishikawa	Professor	Infection Immunity	Study on onset mechanism of pathogenic protozoan diseases
Hidefumi Furuoka	Professor	Pathobiological Science	The pathology of neuromuscular disorders and the pathology of infectious diseases (e.g., animal prion diseases, <i>Lawsonia</i> infection)
Motozumi Matsui	Professor	Diagnosis and Therapeutics for Reproductive Diseases	Pathophysiology of ovarian and uterine disorder in cow reproduction
Norio Yamagishi	Professor	Bovine Medicine	Pathophysiology, Diagnosis, and Treatment of Bovine Diseases
Naoaki Yokoyama	Professor	Diagnosis for Protozoan Diseases	Epidemiological survey of protozoan disease in domestic animals and development of its control strategy
Kayo Okumura	Associate professor	Bacteriology	Molecular mechanisms of bacterial pathogenesis and developments of diagnostic tools for bacterial pathogens
Akira Kubota	Associate professor	Environmental Toxicology	Study on biological effects and mode of action of anthropogenic chemicals

Name	Position	Field of Research	Contents
Nao Tsuzuki	Associate professor	Image diagnosis	Research on image diagnosis for farm animals,
Mizuki Tomihari	Associate professor	Surgery, Oncology, Molecular Biology, Immunology	1) Study of minimally invasive Surgery 2) Study of tumor associated antigen in canine melanoma 3) Study of genetic factor for canine mast cell tumor
Takahito Toyotome	Associate Professor	Veterinary Mycology	1) Mycosis, 2) Mycotoxicosis, 3) Food mycology
Toyoko Hiroi	Associate professor	Pathogenic Bacteriology	Molecular mechanisms of bacterial infections and its pathogenicity. Development of diagnosis and detection methods of bacterial infections.
Shinya Fukumoto	Associate professor	Vector Biology	Infection mechanism of pathogens to the vector invertebrate
Kotaro Matsumoto	Associate professor	Large Animal Internal Medicine	Diagnosis and treatment of infectious diseases of large animals
Yoshikage Muroi	Associate professor	Neuropharmacology	Study on the central nervous system for controlling instinctive behaviors
Eiki Yamasaki	Associate professor	Food Hygienics	Management and establishment of detection methods for food-poisoning bacteria.
Mitsunori Kayano	Senior Assistant Professor	Biostatistics	Statistics in medicine and agriculture and its applications

Animal Production

Name	Position	Field of Research	Contents
*Katsuya Kida	Professor	Dairy Production Medicine	1) Feeding, Nutrition and Cattle Health 2) Animal Hygiene
Keigo Kuchida	Professor	Animal Breeding	Statistical genetics for beef cattle based on objective measurements
Masafumi Tetsuka	Professor	Reproductive Physiology	Studies on ovarian physiology, oocyte maturation, fertilization and embryo development in domestic animals
Takehiro Nishida	Professor	Animal Feeding	Nutritional physiology and feed evaluation in ruminants
Akio Miyamoto	Professor	Animal Reproduction	Immune system for regulating fertility: a cross-talk between sperm/embryo and maternal genital tract
Acosta Ayala Tomas Javier	Associate professor	Animal Production Animal Disease Control	Improving efficiency dairy and beef cattle production. Herd health management.
Chiho Kawashima	Associate professor	Animal Nutrition and Reproduction	1) Study on metabolic status and reproductive function during the perinatal period. 2) Study on nutritional and metabolic status of dam and fetus.
Tetsuya Seo	Assistant Professor	Animal Behavior Animal Welfare	Studies on animal behavior and animal welfare

The professor marked with * will retire on March 31, 2021. If you would like to be supervised by him/her, please consult in advance about research instruction.

Name	Position	Field of Research	Contents
Koichi Hagiya	Associate professor	Animal Breeding	Genetic improvement of dairy cattle based on quantitative genetics
Masaaki Hanada	Associate professor	Livestock Production	Improvement of productivity and sustainability of livestock production based on regional feed resources such as herbage and agricultural byproducts
Nobuyoshi Matsunaga	Associate professor	Animal Physiology	1) Study on metabolic hormones related to growth 2) Study on intermediate blood metabolites

Ecology and Environmental Science

Name	Position	Field of Research	Contents
Tatsuo Oshida	Professor	Mammalogy	Ecological and phylogeographical studies of wild mammals
Norikuni Kumano	Associate professor	Insect Ecology	Behavioral Ecology, Population Ecology
Yasushi Hashimoto	Associate professor	Fungal Ecology	Ecological studies of plants and associated fungi in natural and agricultural ecosystems.
Yushin Asari	Senior Assistant Professor	Wildlife biology	1) Biology of arboreal mammals 2) Urban and rural ecology 3) Road ecology

Food Science

Name	Position	Field of Research	Contents
Tadasu Urashima	Professor	Milk Functional Science	Biological function of milk and milk products, function of dairy lactic acid bacteria starter
Takuji Ohwada	Professor	Applied Microbiology	Symbiotic relationship between plant and microorganism
Mikio Kinoshita	Professor	Food Functional Chemistry	Food biochemistry of functional lipids
Michiyuki Kojima	Professor	Biochemistry	Structure analysis and action mechanism of constituent which affects the biofunction
Kenichiro Shimada	Professor	Meat Science	Applied studies on meat science / meat processing
Michihiro Fukushima	Professor	Nutritional Biochemistry	Theoretical and applied study on nutritional biochemistry and molecular biology
Hiroaki Yamauchi	Professor	Food Technology	Theoretical and applied studies on value-added utilization and processing of agricultural and dairy products
Tadashi Nakamura	Associate professor	Dairy Science	Applied studies on utilization and processing of dairy products
Kyu-ho Han	Associate professor	Food Science	Research for bioresources on health-function
Kenji Fukuda	Associate professor	Food Science	Studies on functionalities of milk proteins and lactic acid bacteria

Agricultural Economics

Name	Position	Field of Research	Contents
Toshihisa Kanayama	Professor	Agricultural Economics	1) Development of rural food system 2) Behavioral economics and food safety
Koki Kyo	Professor	Statistics	1) Statistical data analysis 2) Statistical analysis of regional economy 3) Statistical analysis of agricultural economy
Hiroichi Kono	Professor	Agricultural Economics	1) Economics and Epidemiology 2) Development Economics 3) Livestock Development and Poverty Reduction
Eiichi Shiga	Professor	Agricultural Economics	Studies on the behavior of large-scale business-farm in the regional agriculture
Yasushi Sembokuya	Professor	Agricultural Economics	1) Economic analysis on the development of farm level hygiene management 2) Comparative analysis on the distribution system of agricultural products

Engineering for Agriculture

Name	Position	Field of Research	Contents
Kazutaka Umetsu	Professor	Bioprocess Engineering	Studies on advanced fermentation methods to convert energy and development of methods to utilize nitrogenous compounds for livestock farming
Tadashi Kishimoto	Professor	Agricultural Machinery	1) Dynamics of traction device of agricultural vehicle 2) Development of application technology for dairy manure slurry
Tadatoshi Satow	Professor	Agricultural Machinery Agricultural Informatics	1) Studies on farming system engineering in large-scale agriculture 2) Application of smart agriculture and agricultural robot
*Osamu Tsuji	Professor	Soil and Water Conservation	1) Water and wind erosion in cold region 2) Conservation of windbreaks using GIS
Toshimi Muneoka	Professor	Irrigation, Drainage and Rural Engineering	1) River water quality and land use in agricultural and forest watersheds 2) Slope conservation and revegetation technology
Masato Kimura	Associate professor	Agricultural meteorology	Use of cold energy from natural ice
Fumihito Miyatake	Associate professor	Bioresource Engineering	Theoretical and technological studies on composting and biomass

The professor marked with * will retire on March 31, 2021. If you would like to be supervised by him/her, please consult in advance about research instruction.

Plant Production Science

Name	Position	Field of Research	Contents
Kiyoaki Kato	Professor	Plant Molecular Breeding	Molecular basis and applied studies on plant breeding
Masanori Koike	Professor	Insect Pathology	Biological control using entomopathogenic fungi
Masayuki Tani	Professor	Soil Science	Evaluation and improvement on soil fertility in arable land
Masahiro Hirata	Professor	Rangeland Ecology Culture Anthropology	1) Study on rangeland ecology and environmental conservation in dry areas 2) Study on subsistence and milk culture of pastoralists in dry areas
Hideho Miura	Professor	Plants Genetics and Breeding	Improvement of production and quality in wheat and leguminous crops
Masahiro Akimoto	Associate professor	Crop Science	Improvement of cultivation methods of common food crops and fodder crops.
Kazumitsu Onishi	Associate professor	Plant Breeding	Genetic studies on quantitative traits in crop species

Application and enquiries

Entrance Examination Office,

Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine.

11 Nishi 2, Inadacho, Obihiro, Hokkaido 080-8555, Japan

Tel: (0)155-49-5321 (direct line) (8:30 a.m. – 5:15 p.m., Monday – Friday)

E-mail: nyushi@obihiro.ac.jp

Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Website

Visit our website for further information on admission, faculties and outline of the Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine.

<<https://www.obihiro.ac.jp/en>>